

1. 科目名 (単位数)	特別ニーズ教育論 (中等) (2 単位)	3. 科目番号	EDTS2310
2. 授業担当教員	須藤 典征		
4. 授業形態	講義だけでなく様々な形態のグループ討議など、アクティブラーニングに基づいた履修者同士の実践的な学び合いを重視する。※可能であれば補講期間に関連施設の見学なども予定する。	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	障害の有無に関わらず特別の教育的ニーズのある児童を理解するために、(1) インクルーシブ教育の理念とシステム構築の具体化の模索、(2) わが国の特別支援教育の理念、制度及び展開、(3) 特別支援学校や特別支援学級、通級による指導、地域連携支援などの特別支援教育の各形態の現状と課題、についてそれぞれ講述する。		
8. 学習目標	1. 特別の支援を必要とする生徒の障害の特性及び心身の発達について理解し、説明することができる。 2. 特別の支援を必要とする生徒に対する教育課程や支援の方法について理解し、説明することができる。 3. 障害の有無に関わらず特別な教育的ニーズのある生徒の学習上の困難とその支援について理解を深める。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	「知的障害若しくは発達障害に関するレポート」 (時数1,000から1,200字程度)		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 1 玉村公二彦・清水貞夫・黒田学・向井啓二(2019)『新版・キーワードブック特別支援教育-インクルーシブ教育時代の基礎知識』クリエイツかもがわ 【参考書】 1 特別支援学校 幼稚部教育要領・小学部・中学部学習指導要領 (平成 29 年 4 月告示 文部科学省) 2 柳本雄次・河合康編著「特別支援教育第 3 版」福村出版 (2019)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 ・障害の有無に関わらず特別の教育的ニーズのある生徒の発達や学習の過程について理解できたか。 ・インクルーシブ教育と特別支援教育に関する基本的な用語や概念を理解することができたか。 ・インクルーシブ教育の理念とシステム構築の具体化について模索できたか。 ・わが国の特別支援教育の理念、制度及び展開について理解できたか。 ・発達障害の児童や障害を抱える生徒の心身の発達や学習の過程を展望することができたか。 ・特別支援学校や特別支援学級、通級による指導、地域連携支援などの特別支援教育の各形態の現状と課題について自らの考え方をもちとすることができたか。 ・通常学級における授業のユニバーサル化について理解できたか。 ○評定の方法 ・平常点 (積極的参加度・授業態度・発表・発言等) 30% ・課題 (中間レポート・ワークシート等) 30% ・期末評価 (レポート・試験等) 40%		
12. 受講生へのメッセージ	現在、学校では様々な支援を必要とする児童・生徒が在籍しています。どのようなニーズがあり、どのような支援を必要としているのかを見極めて、適切な支援をしていく必要があります。その基礎的な知識を習得していきましょう。		
13. オフィスアワー	講義開始前後の休憩時間		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 障害児教育の歴史と変遷 母国語や貧困等の問題から教育的ニーズを抱えた児童への対応	事前学習	教科書「第 5 章」(pp. 247-281) を熟読しておく。
		事後学習	特別ニーズ教育論を学ぶ意義について考える。本時の授業のポイントや用語についてノートに整理する。
第 2 回	インクルーシブ教育の国際動向 (サラマンカ声明と障害者の差別、合理的配慮)	事前学習	教科書「第 1 章」(pp. 12-29) を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第 3 回	特別支援教育とインクルーシブ教育 (わが国の特別支援教育の理念と制度、交流及び共同学習)	事前学習	教科書「第 1 章」(pp. 30-47) を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第 4 回	特別支援教育とインクルーシブ教育 (通常学級における合理的配慮とユニバーサルデザイン教育)	事前学習	教科書「第 1 章」(pp. 48-69) を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第 5 回	特別支援教育の学習指導要領と教育課程、個別の教育支援計画、個別の指導計画	事前学習	教科書「第 2 章」(pp. 71-89) を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第 6 回	障害児の教育課程と方法 (特別支援学級や通級指導教室の教科指導 (読み・書き) 作業学習・自立活動)	事前学習	教科書「第 2 章」(pp. 90-111) を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第 7 回	障害児の教育課程と方法 (通常学級での授業づくりの手法としての授業のユニバーサルデザイン化・特	事前学習	教科書「第 2 章」(pp. 112-123) を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワ

	別支援学級や通級指導教室における教材教具の役割・授業研究)		ークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第8回	障害児の教育課程と方法 (ICT を用いたコミュニケーションの光と影、発達障害や軽度知的障害を抱えた生徒に対するソーシャルスキルトレーニング)	事前学習	教科書「第2章」(pp.124-143)を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第9回	特別支援学校の制度 (視覚障害教育と聴覚障害教育、病弱教育) と障害をあわせ有する重複障害の知的代替の教育課程	事前学習	教科書「第3章」(pp.144-153)を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第10回	障害と発達の基礎概念 (発達保障の考え方、障害者の自立、発達と教育の関係)	事前学習	教科書「第3章」(pp.155-161)を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第11回	障害と発達の基礎概念 (いじめや非行、不登校と障害の関連、QOL を高めるための教育的な支援)	事前学習	教科書「第3章」(pp.162-171)を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第12回	障害の診断・判断・支援 (知能検査とダウン症の行動特性の観点からの課題と支援)	事前学習	教科書「第3章」(pp.172-185)を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第13回	障害の診断・判断・支援 (読み書き障害、ADHD、自閉症スペクトラム)	事前学習	教科書「第3章」(pp.186-195)を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第14回	障害の診断・判断・支援 (弱視、難聴、ろう文化と手話)	事前学習	教科書「第3章」(pp.198-206)を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第15回	就学から青年期・成人へ (相談事業・中等教育における特別支援教育・障害者の労働法制)	事前学習	教科書「第4章」(pp.207-245)を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。